

(9) 天頂(てんちょう)鉾山跡

鉾山の所有者は良く変る。その度に、同じ鉾山なのに呼称も変ることがある。この鉾山は、「栃木鉾業所栃木坑」、又は「天頂鉾山」、又は「栃木鉾山」と呼ばれていたらしい。主要鉾物は黄銅鉾、黄鉄鉾、希に方鉛鉾、閃亜鉛鉾。位置は東経 $139.8141^{\circ} = 139^{\circ}48'51''$ 、北緯 $36.7793^{\circ} = 36^{\circ}46'45''$ 、高度=298m。地形図中の上の十字である。広い原っぱである。現場は広い原っぱ状態である。原っぱの南側に幅の広いズリ面がある。鉾物ズリは少ない。その中央付近には鉾石排出用のコンクリート施設が未だに残っている(写真)。多分このコンクリートの内部に坑口があるのであろう。確かめてはいない。山を挟んだ南側の舗装された道路脇に「通洞坑」がしっかりと残っている(写真)。この通洞坑から鉾石を排出し、その前に広がる平らな土地で選鉾していたらしい。

(10) 日光(にっこう)鉾山跡

地形図中の下の方の2箇所の十字である。この鉾山も他名称がある。「栃木鉾業所日光坑」である。主要鉾物は天頂鉾山と同じで、黄銅鉾、黄鉄鉾、希に方鉛鉾、閃亜鉛鉾である。多分鉾脈は同じなのであろう。日光鉾山は山の南北に廃坑口がある。北側のズリはあまり大きくなく、木々の下になっている。が、南側のズリは広大であり、下草も生えていないので開放状態である。のんびりとズリ探しが行える。北の十字位置は東経 $139.8223^{\circ} = 139^{\circ}49'20''$ 、北緯 $36.7656^{\circ} = 36^{\circ}45'56''$ 、高度=318m。何カ所かに坑口跡があり、小さな鉾物ズリもある。南の十字位置は東経 $139.8226^{\circ} = 139^{\circ}49'21''$ 、北緯 $36.7599^{\circ} = 36^{\circ}45'36''$ 、高度=254m。広大なズリの真ん中である。殆どは捨てズリであり、好物ズリは少ない。が、探し回れば、鉾物ズリは拾えよう。坑口跡は、十字の辺りから北北西方向の沢を登り詰めたところにある。進入禁止の柵で囲まれている。大規模な坑口であったようである。一体はズリのようにであるが、めぼしいズリは少ない。



日光鉾山には山の北と南の2箇所に坑口跡有り

地図 国土地理院 2万5千分の1地形図「玉生」

探査日 2009年3月、その他の日

参考文献

(1)「日本地方鉾床誌 関東地方」、今井、河井、宮沢、朝倉書店、昭和48年。

鉋山跡写真



広い範囲に捨てズリがある。が、めぼしい鉋物ズリは少ない。



天頂鉋山の採鉋所跡のコンクリート施設。



舗装道路脇にある通洞坑



日光鉾山の北側にある坑口跡の一つ



日光鉾山の南側にある広大なズリ。が、めぼしい鉾物ズリは少ない。



日光鉾山の南側の坑口跡。金網柵で、立ち入り禁止。この柵内に坑口跡がたくさんありそう。

採集鉱物写真

品名 南側で黄銅鉱か黄鉄鉱、北側で銅の2次鉱物（黄緑 = クジャク石、空色 = ?）
大した採集品ではないので当分、未掲載